

ミニレター

# あぜみち通信

\*\*\*\*\*

令和6年9月1日

285号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

## ◎ 農地中間管理機構による所有権移転、来年度から実施を検討

8月7日にアイリス愛知（名古屋市中区）において、県・市懇談会が開催され、愛知県と豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市との意見交換のなかで、愛知県農地中間管理機構の農用地利用集積等促進計画による所有権移転を来年度から実施することについて、真に担い手の育成に資するものを対象とし、機構がリスクを負わないスキームを検討していくとされました。これにより、懸案となっていた課題が前進することとなり、今後は具体的な手続き等について、調整のうえ示されてくるものと思われます。

## ◎ 常設審議委員会（8月）の審議状況について

8月14日、「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る市町村農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

8月の諮問は、14の農業委員会から農地法第4条に基づく転用事案1件459㎡、第5条に基づく転用事案23件、150,641㎡について審議し、いずれも原案どおり許可して差し支えない旨承認されました。

なお、審議終了後、豊橋市農業委員会水野会長及び田原市農業委員会山本会長から農地中間管理機構による所有権移転について、農業委員会等に関する法律第38条に基づく意見書を提出し、県当局が実施に向けて検討することとなった旨の報告がありました。

（参考） 諮問農業委員会

瀬戸市(2件)、犬山市(1件)、豊明市(1件)、弥富市(4件)、半田市(1件)、常滑市(1件)、美浜町(2件)、武豊町(2件)、安城市(4件)、豊田市(2件)、みよし市(1件)、新城市(1件)、豊橋市(1件)、田原市(1件)

## ◎ 愛知県農業会議の第1回臨時総会及び第4回理事会を開催しました

8月14日に愛知県三の丸庁舎において、一般社団法人愛知県農業会議の令和6年度第1回臨時総会を開催しました。

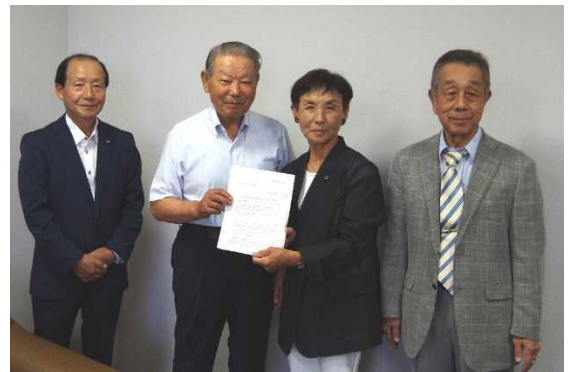
川上会長の挨拶の後、欠員に伴う理事の選任議案が審議され、原案のとおり愛知県市長会会長交代に伴い岡村秀人大府市長が理事に選任されました。

その後、同庁舎において、令和6年度第4回理事会を開催し、原案のとおり岡村秀人理事が欠員となっていた副会長に選定されました。また、会長の職務の執行状況（令和6年3月5日から令和6年8月13日まで）について報告されました。

## ◎ 名古屋市農業委員会から農業施策に関する協力要請がありました

8月14日に名古屋市農業委員会（布目巳佐子会長）は「令和7年度名古屋市農業施策等に関する意見」について名古屋市長へ提出し、市町村では解決できない制度上の課題もあることから、国・県等へ要請を行い、愛知県農業会議川上万一郎会長にも関係各所への要請の協力を求める文書を直接手渡されました。

意見書の内容は、①税制（相続税の納税猶予に関する要件の緩和・拡大）②農業基盤の維持・整備（施設の更新修繕、予算確保）③人材育成（「農」の魅力の発信、幅広い講座・研修の実施、市・農協などと協力した支援）となっており、本会議としては、全国農業会議所に対し、現場の農業委員会の要請として実現に向けた取組を依頼しました。



左から(市)安井職代、川上会長、(市)布目会長、(市)小島会計

## ◎ 第1回農業委員会巡回支援及び研修支援

地域計画の策定が本年度末までであることを考慮して、農業委員会巡回支援を例年より時期を早めて7月中旬から8月中旬にかけて10会場に分けて開催しました。

農業会議からは①地域計画策定に係る留意点・県内の動向②食料・農業・農村基本法改正と関係施策③地域計画策定後の農地貸借④農業委員会サポートシステム・タブレット端末等の活用状況⑤愛知の農業委員会活動活性化運動等について情報提供を行い、各農業委員会事務局担当者と意見交換を行いました。

また、農業会議では、農業委員会が研修を実施する際に、農業委員会からの要請に基づき、職員を派遣して研修の支援を行っています。これまでに職員を派遣した農業委員会は次のとおりです。

春日井市（7/29）、南知多町（8/20）、東海市（8/20）、岩倉市（8/23）

## ◎ 「第48回全国稲作経営者現地研究会 in ちば」が開催されました

7月31～8月1日に「ヒルトン成田」（千葉県）において、全国稲作経営者会議と千葉県稲作経営者会議が主催する「第48回全国稲作経営者現地研究会 in ちば」が開催され、「感性マーケティング～市場の心をつかみ、家族の心を癒す脳科学～」と題した株式会社感性リサーチ 代表取締役 黒川 伊保子氏による基調講演に続き、「米の輸出をめぐる状況と展望について」と題した農林水産省大臣官房総括審議官（兼輸出・国際局）山口 靖氏による講演、「米の輸出の実践例」の事例発表などが行われたほか、米政策に関する提言が決議されました。翌日は、小泉ファーム（代表 小泉 輝夫氏。転作圃場で子実トウモロコシを生産）等の現地視察が行われました。

また、現地研究会と併せて、全国稲作経営者会議主催の「令和6年度通常代議員総会」も開催されました。愛知県稲作経営者会議から榎本会長始め会員7名が参加しました。

## ◎ 2025（令和7）年産米生産数量目標の目安は131,821t

8月22日に名古屋市中区の「愛知県自治センター」において、愛知県の水田農業に関する基本的事項を検討する「愛知県水田農業検討会議（主宰：愛知県農業水産局長）」が開催され、愛知県農業再生協議会からの依頼に基づき、愛知県における2025（令和7）年産米の生産数量目標の目安の設定方針（案）について協議を行いました。

この報告を受け8月28日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、「愛知県農業再生協議会」の令和6年度理事会及び通常総会が開催され、2025（令和7）年産米生産数量目標の目安について、131,821t（種子用等の生産量643tを除く）とすることで承認され、地域農業再生協議会別の生産数量目標の目安の設定についても、原案のとおり承認されました。（参考：2024（令和6）年産米生産数量目標の目安126,442t）

## ◎ あいち米の初出荷式が行われました

8月9日に弥富市の「JAあいち海部鍋田集出荷場」において、愛知県経済農業協同組合連合会とあいち海部農業協同組合との共催による「令和6年産あいち米初出荷式」が開催されました。

式典は、JAあいち経済連の中野常務理事とJAあいち海部の平野代表理事組合長からの主催者挨拶と、安藤弥富市長等の来賓祝辞が述べられました。続いて、JAあいち海部広報大使「あまにゃん」が一日検査員として、新米（あきたこまち）の等級検査を行い「1等米」であることが確認されました。

式典の後、来賓、主催者、「あまにゃん」やあいち米生産者代表「あぐり父さん」らによるテープカットが行われ、新米を載せたトラックを送り出しました。

## ◎ 農業者年金加入推進特別研修会を開催しました

8月19日に名古屋市中区の「桜華会館」において、独立行政法人農業者年金基金、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業会議の三者の共催により、「令和6年度農業者年金加入推進特別研修会」を開催し、県内各地の加入推進部長、農業委員、事務局職員、JA職員等が出席しました。

研修会では、制度概要及び加入推進活動に関するDVDを視聴した後、農業者年金基金から「加入推進を強化する上で有効な情報の提供」について、また農業会議から「愛知県の加入推進の取組」についてそれぞれ説明があり、続いて「農業者は老後に備えどの商品を選べばよいか」と題して現行農業者年金創設時に制度設計に携わった榊原喜久氏（株式会社アセット榊 代表取締役）による講演を行いました。

### 今後の主な行事予定

- 9月 6日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会（稲沢市民会館）
- 9月10日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会（知立市文化会館）
- 9月11日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 9月12日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会（豊川市文化会館）
- 10月11日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 11月 5日 愛知県農業会議創立70周年記念大会（名古屋ガーデンパレス）

# 全国農業図書の刊行のご案内

## 1 農業法人の会計・税務ハンドブック

法人税はもとより事業税、住民税、税制特例のほか、「消費税」の取り扱いも解説。

また、損益計算書や貸借対照表や剰余金処分の留意事項、法人税申告書の作成手順まで、必要な情報を盛り込んでいます。

※2024年8月28日刊行      コード番号：R06-12 定価 3,960円



## 2 2024年度版 農家相談の手引

～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～

農業委員・農地利用最適化推進委員をはじめとした地域農業のリーダー等が、農業者から相談を受ける際に制度や施策の要点について説明するために活用できる資料集。

※2024年8月7日刊行      コード番号：R06-20 定価 850円



## 3 よくわかる農家の青色申告

収入保険制度をはじめ農業施策の対象として位置づけられ重要性が高まる青色申告。制度の仕組みと申告手続き、源泉徴収と納付の仕方、簿記記帳の実務、確定申告書の作成から納税までを網羅し、記入例を交えて解説した農家向け手引書の決定版。

※2024年8月6日刊行      コード番号：R06-22 定価 990円



## 4 農業振興地域制度のあらまし

～優良農地の確保と有効利用を目指して～

農地の有効利用を図るための農業振興地域制度の仕組みについて、オールカラーのイラストや図で分かりやすく解説した24頁の小冊子。

※2024年8月29日刊行      コード番号：R06-23 定価 286円



お問い合わせ先 一般社団法人愛知県農業会議  
TEL 052-962-2841 FAX 052-963-0399